

授業科目 基礎看護学 I

【担当教員名】 石塚 敏子、川崎 久子		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	○	○	
【一般目標：GI0】 看護の対象に応じた看護を実践するために必要な日常生活援助の基本的知識を修得する。					
【行動目標：SBO】 1. 看護技術の原理原則である安全・安楽・自立の重要性について述べるができる。 2. 人間の基本的ニーズに応じた日常生活援助技術の適応と効果について述べるができる。 3. 根拠に基づいた看護技術の必要性について説明することができる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	看護技術とは	1	講義、担当：石塚 敏子		
2	生活環境	2、3	講義、担当：川崎 久子		
3	安全・安楽／活動・休息	2、3	講義、担当：川崎 久子		
4	清潔	2、3	講義、担当：石塚 敏子		
5	清潔（衣生活含む）	2、3	講義、担当：石塚 敏子		
6	食事	2、3	講義、担当：石塚 敏子		
7	排泄	2、3	講義、担当：石塚 敏子		
8	排泄（浣腸）	2、3	講義、担当：石塚 敏子		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		系統看護学講座専門分野 I 基礎 看護学 3	有田清子、有田秀子、井川順子	医学書院	2013・2,900 円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 筆記試験（80%程度） レポート（20%程度）		【履修上の留意点】 1. この科目は看護技術演習 I と連動した授業となるため、必ず出席すること。 2. 各単元では解剖・生理学の知識も活用するため、事前に単元内容を確認し必要な解剖・生理学を復習して授業に臨むことで理解が深まる。 3. この科目は基礎看護学実習 II を履修するにあたっての前提科目となる。			